



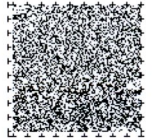
福岡視力センターだより

平成 29 年 7 月 14 日
第 114 号

発行 福岡視力障害センター
〒 819-0165 福岡市西区今津 4820-1
(電 話) 092 (806) 1361
(F A X) 092 (806) 1365

ホームページ
<http://www.rehab.go.jp/fukuoka/>

印刷 社会福祉法人 福岡コロニー



所長就任の挨拶



本年 4 月から福岡視力障害センター所長に就任しました徳永光則と申します。

どうぞよろしくお願いいたします。

日頃より福岡視力障害センターの運営及び障害者福祉の推進にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

私は、福岡県の出身で工業高校卒業後、民間企業に就職しましたが、公務員試験を受験し採用されたのが別府センターです。その後、神戸センターに転勤し、「1～2年程度本省で勉強してみないか」という誘惑を受け、26年間本省に在籍し、2年前に所沢センターに復帰し、この度、福岡センター勤務を命じられました。

初めてスタートラインに立つ気持ちで、しっかり取

り組んでいきたいと考えておりますので、ご指導ご鞭撻よろしくお願いいたします。

障害者福祉を取り巻く環境も大きく変化しており、昨年 5 月、障害者総合支援法等の一部を改正する法律が成立し、平成 30 年度から施行される予定です。また、あはき師の質の向上を図るため、「あはき師学校養成施設カリキュラム等改善検討会」で報告書がまとめられ、医道審議会の了承を得て、あはき師学校養成施設認定規則等の一部が改正されました。

これらの新たな制度への対応を検討し、障害者差別解消法の合理的配慮などに努め、職員一同、誠心誠意支援してまいりたいと考えていますので、ご支援ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

所 長 徳永 光則

就労移行支援(養成施設)入所式

平成 29 年 4 月 10 日(月)、就労移行支援(養成施設)の入所式が無事執り行われ、今年は男性 8 名、女性 2 名の新生を迎えました。どの方も式当初は不安な表情を浮かべていらっしゃいましたが、先輩の新生を迎える温かく力強いお祝いの言葉が進むにつれ、少しずつ安堵の表情に変わっていかれ安心しました。徐々にセンター生活に慣れ、クラスの皆さん、先輩の皆さんと切磋琢磨、また協力し合いながら目標である国家資格取得に向け、センター生活を送ってください。

～新生代表挨拶～

本日は私達新生のために、このような入所式を催して頂き、誠にありがとうございます。

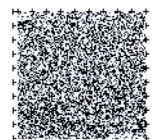
私達は本日より晴れて福岡視力障害センターの新生生としての第一歩を踏み出します。

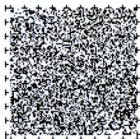
これから三年間、三療師を目指し、知識や技術を身につけていきますが、それは容易な事ではないと思います。しかし、私達新生一同、手を取り合い、支えあい、三年後三療師としての新しい一歩を踏み出せるよう、日々勉強に励むことを誓います。

職員の皆様方、諸先輩方のご指導ご鞭撻、並びにご家族のご支援の程、よろしくお願いいたします。これをもちまして新生代表の挨拶とさせていただきます。

平成 29 年 4 月 10 日

新生代表 成富 浩明





新入生の抱負

1年A組

衛藤 宏章さん

のびのび呑気に暮らしてた地元を離れ、少しはがんばる生活を送ります。理療の習得はもちろんですが、福岡にいるからこそできることや、いろんな人と関わることでできることなどを大事にしていきたいと思っています。

T. Yさん

福岡に引っ越しして、このセンターに通うようになってから、生活が大きく変わりました。

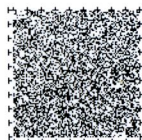
学校に通い、授業を受けることなんて何年振りなことなんだろう、まったく未知の勉強内容に不安とやる気が一緒くたになっていますが、頑張っていきたいと思います。これからよろしくおねがいします。

仲松 佳恋さん

私の3年間の目標は、鍼灸・あん摩・マッサージの資格をとることです。そして、就職できるようにがんばりたいと思います。

新原 美紀さん

入所をして早いもので1ヶ月がすぎました。私は、このセンターに入る前、3つの目標を立てました。1つ目は予習・復習をしっかりとすること、2つ目は休まず授業に出席すること、3つ目は国家試験合格です。まずは、2つの目標を大事にし、3年後には国家試験に合格できるように日々努力していこうと思います。3年間ご指導よろしくお願ひします。



M. Aさん

私は勉強はみんなと競わなくていいので、センターを三年間楽しく仲良く利用できたらいいです。三年後は、このメンバーで胸を張って去ります。

追伸 留年生と一緒になっても助け合って去ります!!

匿名希望さん

がんばります。

1年B組

I. Kさん

入る前は一体どんな事を勉強するのだろうかと不安でしたが、いざ授業が始まってみると解剖や生理などしっかりと医学しつつも、東概などの謎の陰陽論で更に戸惑っています。これから三年間しっかりと修行を積んで立派な風水師に、いや訓練士になりたいと思います。

成富 浩明さん

これからの3年間で、三療師として仕事をしていく為の知識や技術を身に付け、国家試験に合格する事が目的ですが、それまでの3年間で自分の人生のかけがえのない思い出となるように毎日を楽しみながら訓練に励んでいきたいと思っています。

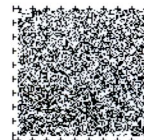
野口 続晃さん

僕も二十歳になったので、これからは責任を持って自分でできることは自分でし、行動します。

三浦 貴史さん

私は以前、福岡市東区の病院で介護福祉士として12年間勤務していました。私が今の眼の病気を自覚し始めたのは退職する1～2年前でした。その当時は夜勤を月に3～4回していて、夜間の排泄援助（オムツ交換）の時によく床頭台やチェストに当たってました。さすがに照明は枕元の照明しかつけられず、夜盲があり苦勞ばかりしてました。当時の所属課長に当センターに勧められ、平成26年にセンターへ見学に来ましたが、もう少し健常者として頑張るつもりで入試を辞退しました。正社員で雇われることなく2年が過ぎました。もう一度、センターを受験し、今に至ります。あん摩、マッサージ、指圧師、鍼師、灸師の

資格を取得し、鍼灸院で修業し、できれば開業したいと思っています。3年は長いですが、学生生活を充実していきたいと思っています。



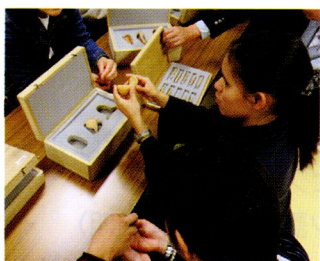
匿名希望さん

3年後の国家試験の合格を目標に日々コツコツとがんばっていきたいです。共同生活の中で、色々な事が起こると思いますが、コミュニケーションを大事にし、仲良くなれたらと思います。



新入生ハイキング

4月14日(金)、就労移行支援(養成施設)1年生のオリエンテーションの一環としてハイキングを行いました。自立訓練(機能訓練)の利用者も含め、計14名の利用者が参加し貸切りバスで九州国立博物館、大宰府天満宮、Apple福岡天神へ行きました。天気は快晴で心地よい中、和気あいあいと行うことができました。九州国立博物館では旧石器、縄文、弥生時代の土器や剣等々の実物や3Dプリンターによる複製物を博物館職員の方々の説明を受けながら実際に触れて古



代人の暮らしに思いをはせました。太宰府天満宮では学業成就の参拝や梅ヶ枝餅を食すなど班ごとに思い思いの時間を過ごしました。Apple福岡天神では、iPhoneに内蔵された画面読み上げ機能(VoiceOver)による操作方法を店員の方々に初級編から上級編まで楽しくレクチャーして頂きました。



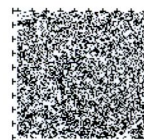
参加者どうしの親睦も深められ、古代の暮らしから近代技術に触れることができた有意義なひとときでした。

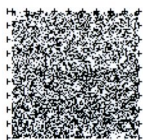
センターに関するQ&A

Q: 難病認定されていますが、視覚障害の身体障害者手帳に該当しません。自立訓練や就労移行支援を受けたいのですが……

A: 主な疾病状況が視覚障害に係る難病で日常生

活に支障をきたす場合は、身体障害者手帳に該当しなくても、医師の診断書をお住いの市区町村に提出し、受給者証が発行されれば利用が可能となります。





平成28年度国家試験結果と進路状況

国家試験結果

第25回あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師国家試験が当センターを会場に平成29年2月25日(土)及び26日(日)の両日に実施され、その合格者の発表が3月28日(火)に行われました。福岡センターの受験者数及び合格率については次のとおりです。

現役受験者

	受験者	合格者	合格率
あん摩指師	9名	8名	89%
はり師	9名	6名	67%
きゅう師	9名	6名	67%

再受験者

	受験者	合格者	合格率
あん摩指師	5名	0名	0%
はり師	6名	0名	0%
きゅう師	5名	0名	0%

全国平均

	受験者	合格者	合格率
あん摩指師	1,601名	1,354名	85%
はり師	4,527名	3,032名	67%
きゅう師	4,443名	3,010名	68%

進路状況

28年度卒業生の進路状況について、以下のとおり報告します。

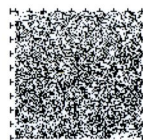
(H29.5.1現在)

進路	人数(人)
ヘルスキーパー	1
老人施設	1
就職活動中	4
その他	3
合計	9

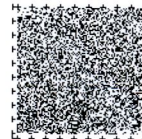
平成29年度年間行事予定表

4月6日(木) 始業式
前期開始(～9月22日(金))
4月10日(月) 入所式
4月14日(金) 新利用者ハイキング
6月27日(火) スポーツ訓練発表会(前期)
7月15日(土) 夏期休業(～8月27日(日))
7月中旬 総合防災訓練
7月下旬 解剖見学実習
8月6日(日) 卒後研修会
9月25日(月) 後期開始(～2月28日(水))
10月2日(月) 再理療教育開講式

10月14日(土) 卒後特別研修会
15日(日)
11月中旬 総合防災訓練
12月3日(日) Eyeあいフェスタ(視覚障害者福祉フェスティバル)
12月14日(木) スポーツ訓練発表会(後期)
もちつき大会
12月16日(土) 冬期休業(～1月8日(月))
2月23日(金) 再理療教育閉講式
2月24日(土) 第26回あん摩マッサージ指圧師国家試験
2月25日(日) 第26回はり師・きゅう師国家試験
2月28日(水) 卒業式
終業式
3月下旬 国家試験合格発表



平成29年度事業計画重点事項



1 サービスの向上(継続)

- (1) 利用者の健康管理や利用者の歯科保健指導及び自己管理能力の向上を図る目的で取り組んだプロジェクト(歯科検診・ブラッシング指導・口腔ケア等)を継続して実施する。
- (2) 処遇技術の向上を図るために各種研修会を企画推進し職員の資質向上や意識の改革を図る。
- (3) 福祉サービス第三者評価、利用者満足度調査、利用者自治会との懇談会要望事項等を結果を踏まえ、サービス内容を検討し、今年度の利用者サービス提供に反映させる。

2 利用率の向上(継続)

- (1) 各県において自立訓練体験プログラムを実施するとともに、当該地域の視覚障害者のニーズ把握や実態を把握しセンターのサービス利用につなげていく。
- (2) 相談支援事業所、包括支援センター等への調査結果から、出前講座・自立訓練体験プログラムを希望する事業所に対して実施するとともに、基幹となる事業所と連携を図る。

3 自立訓練の充実(継続)

- (1) 職員があらゆる訓練に対応できるようにするため、各訓練の指導技術の向上や勉強会(ケースカンファレンスを含む)、マニュアルの活用、教授法研鑽のために公開訓練等を積極的に実施する。
- (2) 集団訓練、個別訓練における訓練時間の配当やプログラムについて、様々な取り組みを行い具体的な訓練体制を構築する。

4 教官特別講座の充実(継続)

臨床をコアに据えた理療教育を推進するために、長期休暇(夏期・冬期)中の支援において、全教官が総力をあげて実技・臨床に係る教官特別講座の充実を図ること

し、前年度実施回数(11回)の20%増を目標とする。

5 進路支援の強化と就業率の向上(継続)

- (1) 早期に進路決定ができるよう1年次から学年別進路支援講座、進路相談や情報の提供を行い、正課授業の中で反映されるよう取り組んでいく。
- (2) 進路の選択に必要な情報を適切に提供できるように昨年度の調査結果に加え、就労状況実態報告書を作成する。また、関係機関に配布するための小冊子を作成する。

6 到達度チェックの拡大(継続)

あはき師国家試験の合格率の維持・向上を図るため、到達度チェックの受験者について学年拡大を図りながら、早期から受験を意識した指導を展開していく。

7 独自事業における能動的学修の実践(継続)

再理療教育においては、前期の通信指導を強化し、3年間の振り返りを支援する体制を構築させる。

また、臨床研修コースにおいて利用者による目標設定及び自己評価を実践し、目標の達成に向けた授業を展開させる。

8 普及啓発活動・地域貢献の取組み(継続)

- (1) 一般市民等を対象として視覚障害者の自立への理解を深めるための啓発活動を企画し積極的に取り組む。(Eyeあいフェスタ・障害者週間記念講演、訓練公開、暗闇体験、研修会等)
- (2) 地域や団体の企画作成に役立ててもらうための支援者講習会パンフレット(仮称)を作成し、学校や関係機関等に配布する。

9 50周年記念式典に向けての準備(新規)

平成31年度50周年記念行事に向けた取組みとして、実行委員会を立ち上げて協議していく。(予算要求など)

職員の異動

平成29年3月31日

〈定年退職〉

後藤 英信(所長)

平本 富美香(庶務課長)

室井 忠(庶務課調理師長)

〈任期満了〉

安河内 尊士(支援課生活支援員)

平成29年4月1日

〈転出〉

佐藤 智治(庶務課会計係長)

(別府重度障害者センター庶務課へ)

島村 明盛(教務課長)

(国立障害者リハビリテーションセンター理療教育・就労支援部理療教育課へ)

山下 庄二(支援課主任機能訓練専門職)

(別府重度障害者センター支援課へ)

〈転入〉

徳永 光則(所長)

(国立障害者リハビリテーションセンター理療教育・就労支援部より)

鬼塚 剛博(庶務課長)

(神戸視力障害センター庶務課より)

佐藤 美紀(庶務課支援管理係長)

(別府重度障害者センター庶務課より)

太田 浩之(教務課長)

(函館視力障害センター教務課より)

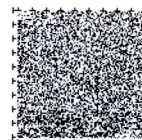
梶原 清隆(支援課機能訓練専門職)

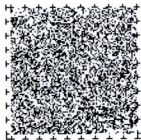
(別府重度障害者センター支援課より)

〈新規採用〉

室井 忠(調理師)

(再任用短時間勤務職員)





新職員の紹介

【庶務課】 鬼塚 剛博

4月1日付けで神戸センターより転任しました鬼塚と申します。福岡は、採用から7年間係員として、係長として4年間、今回が3回目の勤務となり、故郷に帰ってきたようです。出身は、熊本県水俣市です。どうぞよろしくお願いいたします。

【庶務課】 佐藤 美紀

4月1日付けで別府重度障害者センターから支援管理係長として赴任してまいりました。初めての視力センター勤務ですので、いろいろとご迷惑をおかけすることが多いかと思いますがよろしくお願いいたします。

【教務課】 太田 浩之

今年4月から教務課長として赴任した太田浩之です。出身は茨城県土浦市。北海道、埼玉県と勤務して参りました。初めて赴任したこの九州の歴史的、地理的な魅力に触れながら、新たな気持ちで仕事に取り組みます。皆さま、どうぞよろしくお願いいたします。

【支援課】 梶原 清隆

別府重度障害者センターから転任いたしました。山好きな私ですが、福岡センターは海に隣接しており、天気が良い日は昼休みに時々浜辺を散歩しています。玄界灘の潮風に元気をもらいながら心機一転がんばります。

利用者募集

1 当センターが提供する施設障害福祉サービス

サービス名	サービス内容	利用開始日	利用申請受付
自立訓練 (機能訓練)	歩行訓練、点字訓練、パソコン訓練、タブレット訓練、日常生活訓練(身辺処理・調理等)、スポーツ訓練、視覚的補助具の紹介、教養等	随時 (原則として月曜日)	随時
就労移行支援 (養成施設)	あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師の国家試験受験資格取得に向けた学習、進路支援等	毎年度 4月上旬	年3回

※通所が困難な方に、宿舎・食事・生活支援等を行う「施設入所支援」サービスも提供しています。

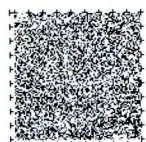
2 利用に関するお問い合わせ

サービス内容や利用料等の詳細、パンフレット・紹介ビデオ(DVD)等の送付、施設利用のお申込み、見学をご希望の方は、下記までお気軽にお問い合わせください。

電話：092-807-2844 (支援課直通)

092-806-1361 (代表)

Eメール：shienka-fukuoka@rehab.go.jp



編集後記

専門課程2年 安藤 晃治

新年度も始まり、今年は10名が新しく入所されました。

平均年齢が若いこともあってかセンターもフレッシュな空気です。

職員さんの異動や居室フロアー、食堂の導線移動など環境も変わりました。

在所生の皆さんもそれぞれ目標も新たに充実したセンターを送れるよう互いに励ましあってください。

専門課程2年 山崎 惇

今年もセンターに別れと出会いの季節が訪れました。今年度は新たに徳永所長が着任され、センターの雰囲気もよりよくなるのが期待されます。そして理療科にも新たに10名の新入生が入所されました。年々と国家試験も難しくなっていますが、共に資格取得を目指して頑張りましょう。